

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		小学校就学援助事業費・中学校就学援助事業費[小・中学校就学援助費事業支給事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	23	小学校費・中学校費	目	2	教育振興費	事業番号	1	
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名		教育総務			課	学務			係	課長名	斎藤 謙二郎	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	1 - 1		
【施策名】 学校教育の充実									総合計画書(ページ)	31		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 経済的理由により児童・生徒を通学させることが困難な保護者				→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 就学援助の認定を受けた保護者数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 支給基準に該当した場合は、教育上必要な経費の一部の援助が受けられる。				→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 就学援助の認定率						
	③ そのために何をしましたか。 経済的理由により就学困難な児童・生徒の保護者に、教育上必要な経費の一部を援助するもので、学用品費や給食費、医療費等の支給を行う。				→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 就学援助費を支給した児童・生徒数						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	人	690	632	610						
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目 標	②の目標値	%	100	100	100						
		目標値設定の考え方										
活動指標		③の数値	人	1,011	938	889						
3 経費	事業費(実績)		円	71,620,465	67,526,344	52,899,552	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	70,554,465	66,977,344	52,899,552						
		特定財源(国・都・他)	円	1,066,000	549,000	0						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.0	0.4						
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.6	0.0						
		職員人件費(再任用以外)	円	3,297,600	0	3,352,000						
	職員人件費(再任用)	円	0	2,350,200	0							
事業費+人件費		円	74,918,065	69,876,544	56,251,552							
4 環境変化等	(1) 開始年度		S52 年度									
	(2) 環境の変化		学校教育法等の規定に基づき事業を実施している。 経済的な理由により就学させることが困難な場合等において、教育費の一部を援助することを目的としている。									

事業名称	小学校就学援助事業費・中学校就学援助事業費[小・中学校就学援助費事業支給事業]			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 斎藤 謙二郎

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	新入学学用品費の審査年齢の見直し		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	<input type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：	
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
特になし			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）		
	特になし		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。		
	特になし		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）		
特になし			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）		
施策名： 学校教育の充実			
<input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）		
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		
	【取組内容】		
	現状においても成果水準を満たしていることを考慮すると、今後も現状どおり事業を継続していくことが重要である。		
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
特になし			